

電子文書PDFファイルを自動加工するソフトウェアを発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区/社長:石田 明)は、株式会社プラネットコンピュータ(本社:静岡県三島市/社長:深澤 秀通)が開発した電子文書PDF*ファイルを自動加工するソフトウェア「OpenFlow(オープンフロー)」を7月7日から販売します。

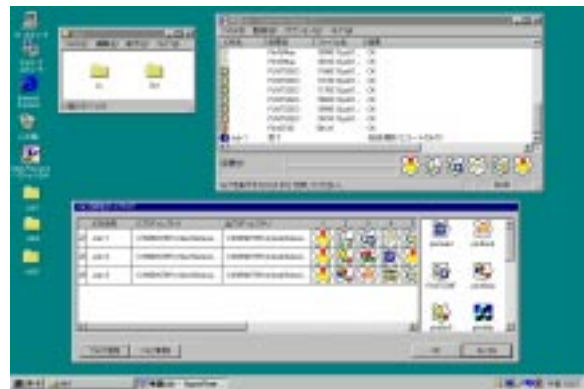
インターネットの普及に伴い、商品カタログをはじめとする商業印刷物や決算短信を含めた企業情報がPDFファイルで制作され、日常的に配信されています。ところが、大量のPDF加工処理や、顧客の要求ごとに情報を付加する処理を必要とする企業では、多大な労力と費用をかけなければPDF処理ができない状況になってきており、効率的で省力化できる自動化システムの導入が求められています。

このたび発売する「OpenFlow」は、基本ソフトウェアとPDFに関する各種の加工ができるコンポーネントで構成され、ファイルを「OpenFlow」に渡すだけで必要なPDF処理が自動的に実行できます。それぞれの処理コンポーネントとして、

- ・マイクロソフトのOffice文書、ジャストシステムの一太郎文書などの自動PDF変換
- ・TIFFなどの画像ファイルの自動PDF変換
- ・各種PDFファイルからの文字抽出(例:図表を除いて文字のみを取り出す)
- ・概要表示用のJPEGサムネイル作成(例:ページ全体の縮小と表示画像を生成)
- ・セキュリティー設定(例:閲覧のみ可能で、印刷不可)

など合わせて19種類があります。「OpenFlow」は、お客さまの必要とするPDF処理コンポーネントだけを組み合わせることでシステムを構成できるため、専用システムに比べ、低コストで自動化システムが構築できます。

大日本スクリーンは、1998年1月にPDFファイル処理を核にした電子文書作成・管理システム「MultiDoc(マルチドック)」を発売以来培ってきたPDF製品に関するノウハウを活用して本ソフトウェアを販売していきます。主な販売先としては、金融機関をはじめ一般企業の情報システム部門や契約などを扱う文書管理部門、製品・企業情報を発信する広報・宣伝部門、出版社、印刷会社などが挙げられます。



OpenFlowの基本画面とJOB設定画面

JOB設定、OpenFlowコンポーネントを仕事ごとに最適な組み合わせに設定可能

この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)

* PDF(Portable Document Format)は、米国・アドビシステムズ社(=Adobe Systems Incorporated)が開発し一般に公開しているファイル形式。さまざまなファイル形式のドキュメントから作成されたPDFファイルは、OSに関係なく無償の閲覧ソフト「Adobe Acrobat Reader」で元の体裁のまま閲覧・出力できると同時にファイル容量も比較的小さく、インターネット/イントラネットを通じた配信や保存にも利用できる電子文書のファイル形式として日本国内でも業界標準になっている。

【販売価格・消費税別】

- ・ 基本ソフトウェア(OpenFlowメインアプリケーション) : 200万円
- ・ 各種コンポーネント : 60万円～

【年間販売予定本数】

40本

【動作環境】

- ・ WindowsNT4.0/SP3以上
- ・ 使用メモリ128MB以上
- ・ PentiumIIプロセッサ450MHz以上を推奨

【会社概要】

株式会社プラネットコンピュータ

本 社 : 静岡県三島市大社町5番4号

代表者 : 代表取締役社長 深澤秀通

資本金 : 1,600万円

設立年月日 : 1991年2月

主な業務内容 : 電子文書(電子文書加工、電子校正、電子契約等)のシステム開発、アドビ社製品(特に、Acrobat)に関するプラグインおよび応用システム開発、電子文書に関する企画・設計・開発およびコンサルティング

URL : <http://www.planetcomp.com/>

<お客さまからの商品に関する問い合わせ先>

大日本スクリーン製造株式会社

グラフィックアーツ事業本部ソリューション部

03-3989-3755

e-mail : pdf@provision.or.jp

株式会社プラネットコンピュータ

e-mail : sales@planetcomp.com

<報道機関各位からの問い合わせ先>

大日本スクリーン製造株式会社 広報室

075-414-7131

株式会社プラネットコンピュータ

e-mail : info@planetcomp.com

OpenFlowは、株式会社プラネットコンピュータの出願中の商標です。

記載している他社の製品に関しては、各社の商標および登録商標です。

OpenFlowコンポーネント

2000.7.5

OpenFlowのコンポーネントは、次の3種類のコンポーネント群に大別されます。

1. PDF変換・抽出コンポーネント群
PDFに対して、変換およびWEB表示用にテキスト抽出、JPEGサムネイルを生成するコンポーネント群
2. PDF加工コンポーネント群
PDFに対して、付加情報の追加を施すコンポーネント群
3. PDF表示情報付加コンポーネント群
PDFに対して、表示上の加工を施すコンポーネント群

1. PDF変換・抽出コンポーネント群

製品名	説明	希望小売価格
Image To PDF 変換コンポーネント	TIFFやJPEGなどの画像ファイルからPDFを作成。	100万円 / マシン
Doc To PDF 変換コンポーネント	Office97、98、2000、一太郎8、9のファイルをPDFに変換。変換には各アプリケーション本体 (Office や一太郎) とPDFWriterが必要。	100万円 / マシン
Doc To PostScript 変換コンポーネント	Office97のファイルをPS変換。その際にワードに付けられたリンクやしおり情報をPostScript内に取り出せる。	60万円 / マシン
Distiller 変換コンポーネント	Distillerを自動制御。PSファイルをPDF変換。	60万円 / マシン
OCR コンポーネント	画像系PDFの各ページにOCRをかけ、文字列を抽出。	60万円 / マシン
テキスト抽出コンポーネント	テキスト系PDFの各ページから文字列を抽出。	60万円 / マシン
JPEGサムネイルコンポーネント	PDFファイルの各ページ (あるいは指定ページ) をサムネイル画像化し、JPEGファイルに変換。	60万円 / マシン

2. PDF加工コンポーネント群

製品名	説明	希望小売価格
PDFサムネイルコンポーネント	ファイル中にサムネイルが付加されていないPDFにサムネイルを付加。	60万円 / マシン
しおりコンポーネント	PDFにしおりを付加。	100万円 / マシン
バインドコンポーネント V1	複数のPDFファイルを一つに統合。	60万円 / マシン
バインドコンポーネント V2	V1の機能強化版。以下の機能が付加。白紙挿入機能=奇数ページのPDFの後には白紙の挿入が可能。しおり・リンク保存機能=バインド後にしおりやリンクがなくならないように出来るだけ保存。他のコンポーネントとの組み合わせでのバインド機能=加工済みのPDFをバインドし、バインド後にさらに加工するようなコンポーネントの自由な組み合わせが可能。	60万円 / マシン
書誌設定コンポーネント	Acrobatで付加可能な標準書誌と、Acrobatでは付加不能なカスタム書誌の両方を、PDFに対して付加。付加したカスタム書誌の読み出しには、別途書誌設定プラグイン (プラネットコンピュータ製) が必要。	60万円 / マシン
セキュリティ設定コンポーネント	改変不可、印刷不可などセキュリティーを自動設定。	60万円 / マシン
ダイアログ表示 Script 埋め込みコンポーネント	PDFを開く際にダイアログを表示する JavaScript を埋め込める。	60万円 / マシン
回転コンポーネント	PDFファイルの各ページ (あるいは指定ページ) を指定した角度 (90度単位) で回転可能。	60万円 / マシン

3. PDF表示情報付加コンポーネント群

製品名	説明	希望小売価格
文字・画像埋め込みコンポーネント	PDFコンテンツに文字や画像を埋め込める	60万円 / マシン
フォームテキスト付加コンポーネント	PDF上にフォームテキストを付加することで文字列を追加。	60万円 / マシン
オーバーレイコンポーネント	A4、B4などの用紙サイズ別のテンプレートの内容に含まれる文字や画像オブジェクトを与えられたPDFの各ページに転写。	60万円 / マシン
キーワード置換コンポーネント	上記オーバーレイコンポーネントで張り込まれた文字オブジェクトの文字列を指定したものに置換。	60万円 / マシン